

パナマ内政・外交（２０２２年９月定期報告）

【ポイント】

- １４日、パナマ政府はパナマ入国の際に要求していたＱＲコード（宣誓書）及びワクチン未接種者の陰性証明の提出措置等を撤廃した。
- １２日から２８日、オデブレヒト社贈賄事案にかかるマネロン疑惑に関し、被疑者５０名に対する予備審問が行われた。
- ６日、パナマを訪問したデル・トロ米海軍長官は、コルティソ大統領を初表敬した。
- １３日、モイネス外相は、パナマを訪問したフェルナンデス米国務次官と会談した。
- １６日、スターンLGBTQI＋米人権擁護担当特使がパナマを訪問し、パナマ政府高官等と会談した。
- ２２日、カリソ副大統領はコルティソ大統領の名代としてＮＹを訪問し、第７７回国連総会にて演説を行った。また、国連総会等出席のためNYを訪問したモイネス外相は、ラブロフ露外相やクレバ・ウクライナ外相等と個別に会談した。
- 安倍元総理の国葬儀出席のため訪日したモイネス外相は、２７日の国葬儀に出席した他、岸田総理への謁見、林外相等と会談した。

【本文】

●内政

１ パナマ入国措置の緩和

パナマ政府は、１４日付大統領令第１２２号において、パナマ入国の際に求めているＱＲコード（宣誓書）及びワクチン未接種者の陰性証明の提出措置を撤廃した他、国内でのパンデミック抑制を目的とした屋内での収容人数制限や個々の間隔距離の確保に係る規定等を解除した。なお、パナマ保健省は６０才以上の高齢者及び基礎疾患のある方については、感染予防のため引き続き混雑した場所でのマスク着用を奨励している。

２ 「健康都市」の心臓血管・胸部研究所の開設

７日、コルティソ大統領及びカリソ副大統領は、「健康都市(Ciudad de Salud)の第１及び第２フェーズの工事を終えた心臓血管・胸部研究所等の開所式に出席した。同施設には、移植センター、腎臓病研究所、血液バンク等を含む。同都市の建設は、過去の２政権において８年以上中断しており、コルティソ政権において、法的・財政上等の問題を解決し、９か月前に工事を再開し、現政権での健康都市の完成を目指している。

3 オデブレヒト社贈賄事案に関する予備審問の再開

12日から28日、オデブレヒト社贈賄事案にかかるマネロン疑惑に関し、被疑者50名（49名の個人と一法人）に対する予備審問が行われた。30日以内に起訴・公判を行うかどうかが発表される予定。なお、被疑者には、マルティネリ元大統領、バレーラ前大統領及びマルティネリ元大統領子息2名の他、マルティネリ政権の閣僚等も含まれており、一法人はRicamar Importadora社（マルティネリ元大統領が有する「スーパー99」の社名）である。マネロン罪に対し、検察は刑法に基づき、5年から12年の刑事罰を求めている。

4 不法移民の増加

（1）移民局はコロンビアとの国境地帯であるダリエンからパナマに流入する不法移民数が22日までに、13万2,153名となり、昨年1年間の13万3,726名とほぼ同数に迫っていると発表した。UNICEFは、2022年末までに少なくとも約16万人の不法移民の流入を予測している。

（2）なお、2022年の統計によれば、不法移民の内訳はベネズエラ67%、ハイチ人6.2%、エクアドル4%の他、中国、ネパール、カメルーン、コンゴ及びナイジェリアとなっているが、昨年はハイチ62%、キューバ14%、チリ7%、ブラジル6%であった。

5 選挙裁判所によるCD党15名の議員に対する除名処分の取消し

27日、選挙裁判所はCD党が決定したCD党15名の議員に対する除名処分を無効とする旨発表した。なお、ルークスCD党首は選挙裁判所の決定を違憲として、最高裁に提訴する旨発表した。（当館注：昨年7月の国会議長選出の際に、アブレゴCD書記長派の15名のCD議員は党の方針に背き、与党PRDのアダメス議長に投票した。本年6月、CD党は同15名の議員に対し除名処分を下したが、同議員らより選挙裁判所に同処分の取消しが求められていたもの。）

6 2023年のカーニバルの開催許可

30日、コルティソ大統領は、パナマにおける新型コロナウイルス感染症の陽性率が低下していることを踏まえ、2023年2月18日から21日まで、パナマ国内のカーニバルの開催を許可する旨発表した。

●外交

1 デル・トロ米海軍長官のパナマ訪問

6日、パナマを訪問したカルロス・デル・トロ（Carlos del Toro）米海軍長

官は、コルティソ大統領を初表敬し、治安問題等を中心に意見交換を行った。同会談において、コルティソ大統領はパナマ運河の治安、不法移民、違法漁業及び麻薬取引に対し、引き続き共に取り組むべく、米国との関係強化に関心を有していることを表明した。なお、同会談には、パナマよりモイネス外相及びピノ治安大臣が同席した。

2 フェルナンデス米国務次官のパナマ訪問

13日、モイネス外相は、パナマを訪問したホセ・フェルナンデス（Jose Fernandez）米国務次官と会談し、サプライチェーン、再生可能エネルギー、海洋保護、グレーリスト及び共通のアジェンダにかかる米国投資家の関心事項につき意見交換した。

3 LGBTQI+米人権擁護担当特使のパナマ訪問

16日、ジェシカ・スターンLGBTQI+米人権擁護担当特使がパナマを訪問し、パナマ政府高官、オンブズマン事務所、選挙裁判所（TE）、市民社会団体及び当地外交団等と意見交換を行った。スターン米特使は、LGBTQIの人権促進と擁護を目的として、アルゼンチン、ペルーを訪問後、パナマを訪問し、中南米訪問を終えた。

4 カリソ副大統領及びモイネス外相の第77回国連総会出席

（1）22日、カリソ副大統領はコルティソ大統領の名代としてNYを訪問し、第77回国連総会の演説において、医薬品価格の世界的な高騰を解決するためのグローバルなイニシアティブの採用の提案の他、地球や環境に損害を与えた者の責任を追及するための国際機関の設立を提案した。

（2）19日から22日まで、モイネス外相は国連総会等出席のためNYを訪問し、第77回国連総会の一般討論会の開会式に出席した他、ラブロフ露外相やクレバ・ウクライナ外相等と個別に会談した他、代表団が出席したレセプションでは、バイデン米大統領に迎えられるとともに、ブリンケン米国務長官等と立ち話をした。

（3）民主主義の発展のための同盟（ADD）の枠組みでは、米国と600億ドル規模に及ぶ新たなサプライチェーン及び半導体製造等の特定分野を推進するための覚書に署名した。また、モーリタニア、東ティモール及びミクロネシアと外交関係を樹立した。

5 モイネス外相の国葬儀にかかる訪日

安倍元総理の国葬儀出席のため訪日したモイネス外相は、27日の国葬儀に出

席した他、岸田総理への謁見、林外相、小倉内閣府特命担当大臣、西村環境大臣、日パナマ友好議連、JICA、JICS、日本船主協会及びANAとそれぞれ会談を行った。また、（パナマ市の姉妹都市である）今治市長とのオンライン会合を行った。

（了）